

「あすをはじく」 御幸中学校 学びの道しるべ

小松市立御幸中学校

1. 全国学力・学習状況調査結果（本校と石川県・全国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	やや下回る	平均並み
数学	平均並み	上回る

2. 設問ごとの良好なもの（◎）と課題となるもの（△）

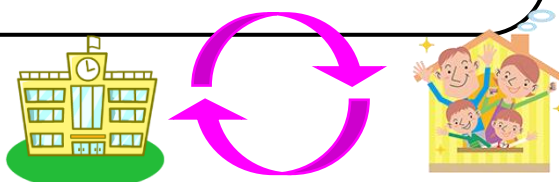
国語
◎目的や意図に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができていた。
◎表現の技法について理解していた。
◎行書の特徴を理解していた。
△文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができていなかった。
△話合いの展開や話題を捉えながら、他者の発言とむずび付けて自分の考えをまとめることができていなかった。
△意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係などの理解ができていなかった。
数学
◎「数と式」では、正負の数の計算ができていた。
◎「関数」では、座標の意味を理解していたり、グラフを読み取ったりすることができていた。
◎「データの活用」では、最頻値や確率を求めることができていた。
△「図形」では、三角形の合同に関する問題ができていなかった。
△説明する問題では、数学用語を使い、正しく表現することができていなかった。

3. 質問紙調査の結果から良好なもの(◎)と課題となるもの(△)

- ◎毎日、同じくらいの時刻に就寝・起床できている生徒の割合が高い。
 - ◎朝食を毎日食べている生徒の割合が高い。
 - ◎人が困っているときに進んで助けている生徒の割合が高い。
 - ◎困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると感じている生徒の割合が高い。
 - ◎学校に行くのは楽しいと感じている生徒の割合が高い。
- △分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる生徒の割合が低い。
- △平日において、テレビゲームやスマホなどでの動画視聴を1日あたり2時間以上している生徒の割合が高い。

4. 全国学力・学習状況調査、質問紙調査の結果を踏まえた取組について 学校での取組

- 基礎・基本の定着に向けて、小プリントを利用するなど、復習の時間を設定する。また、個人思考や話し合いの時間を確保することで、自分の考えを深められるようにしていきます。
- 1週間分の「週課題」を提示したり、「Qubena」を活用したりして、家庭学習に取り組むことができるようにしています。
- 学級活動でのエンカウンターやふれあい面談、学年・学校の行事などを活かして、より良い人間関係を築いたり、一人一人の様子を把握したりできるようにしていきます。



自分自身ができること

- 質問紙調査から生活リズム（起床・就寝時刻や朝食を食べるなど）が整っている様子が見られました。規則正しい生活を送ることで、心身ともに安定した状態を保つことができたり、頭の働きが活発になったりすることで、勉強に集中することができます。また、有効に時間を使うことでプライベートの時間を十分に確保できたり、内容を充実させたりすることができると思います。
- スマホやゲームの時間が増えるほど、明るい画面や情報によって脳は刺激を受け続けることとなります。その結果、脳が疲弊し、睡眠障害、イライラ、不安感などが起こりやすくなる可能性があります。また、姿勢が悪くなることで肩こりや頭痛などになることもあります。時間や家庭でのルールを守り、安心・安全に使用できる環境を作りましょう。